



紅花染 衣裳・古布展

室町から昭和

（ねずみまぢもじそうかもんようだんしどうふく）
単麻地文字草花文様男子胴服

工藤幸治コレクション

令和3年 7月23日(金) - 令和3年 8月31日(火)

会場 最上川美術館 企画展示室

期間中展示替えあり

後期展示 8月13日(金)から

後期展示替えのため8月12日(木)は臨時休館となります

ギャラリートーク

7月24日(土)

① 午後1時30分から

② 午後2時30分から

工藤幸治氏による展示作品の解説を行います。①②は共に同じ内容です。

予約不要ですが 混み合う場合には順番にご案内いたします。

開館時間：午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

入館料：大人 300円 高校生以下無料 団体（8名以上）250円

- ・ 発熱や咳など、風邪症状のみられる方は、来館をお控えください。
- ・ 入館時の検温・手指の消毒・来館者情報の記入にご協力ください。
- ・ 館内ではマスクを着用し、他の方との十分な間隔を保ってご鑑賞ください。
- ・ 館内が過密にならないよう、入場制限させていただく場合がございます。
- ・ 15名以上でお越しの方は事前にご連絡ください。

最上川美術館・真下慶治記念館

〒995-0054 山形県村山市大字大淀1084-1

TEL 0237-52-3195 FAX 0237-55-2152

E-mail mogamigawa@city.murayama.lg.jp



紅花染衣裳・古布展 室町から昭和 工藤幸治コレクション

令和3年7月23日(金) - 令和3年8月31日(火)

ごあいさつ

65年も前の高校美術部時代に夏休みの宿題として静物画があった。「きれいな」テーブルクロスになるものが無いかと母に聞いた。「そんなハイカラな物はないが、使えるならこんな物があるよ」と蔵から出してきたのが藍染の風呂敷や美しい薄紅色の袱紗ふくさだった。

「美しい物だ」と感動したのをはっきり覚えている。

それから父の協力も得て母と共にコレクションに入ってしまった。幸運にも親類からもいろいろと頂戴ちょうだいした物や 県内の骨董屋さんから求めた一部です。



紅綸子地七宝繫毘沙門亀甲総絞振袖
(へにりんすぢしつぽうつなぎびしゃもんきっこうそうしほりふりそで)



紅綸子地染分吉祥模様振袖
(へにりんすぢそめわけきつしょうもようふりそで)

紅花染とは

日本古来の草木染の一種であり、日本人が一番求めた色の数々ある中の色素が紅花にあることを発見した。しかし発色の技術は出羽の国ではなく京都を中心に秘伝としたもので外部へ教えてもらえなかった。その薬しよくばい(触媒)は青梅を焼いた、烏梅うばいだったのである。色は黄、桃、橙、赤、朱だいだいなど発色出来るのです。

工藤 幸治 略歴

酒田市芸術文化協会会長

酒田市文化芸術推進プロジェクト会議会長

さかた文化財団・本間美術館・黒川能評議員

前山形県芸術文化協会副会長

1939年 寒河江市白岩生まれ。高校時代から母とともに
紅と藍のコレクションを始める

1962年 山形大学 教育学部(専攻美術)卒業

1992年 山形県総合美術展 洋画委嘱作家

2000年 鶴岡養護学校長を定年退職

2006年 「酒田あいおい工藤美術館」を開館

2015年 瑞宝双光章受賞

2018年 酒田市功労表彰受賞

2020年 庄内文化賞受賞

著作

黒川能面装束図譜 (2014) 黒川能保存会

庄内傘福の研究 (2014) 庄内傘福研究会

庄内三十三観音 祈りの絵言詞 (2016) メディア・パブリッシング

北前船寄港地 酒田から全国帆船リスト (2020)

デザインエッグ株式会社



最上川美術館
真下慶治記念館

〒995-0054 山形県村山市大字大淀1084-1
TEL 0237-52-3195 FAX 0237-55-2152
E-mail mogamigawa@city.murayama.lg.jp

